

Introduction

1

マニーが大切にしてきたこと

その品質は“世界一”か？

“世界一”の品質へのこだわりは創業時から続くマニーの原点です。
患者様や医師の皆様のためになる製品を追求する姿勢こそが、
私たちマニーのDNAです。

品質は“世界一”であってはじめて、
患者さんのためになる。

松谷 賢司 (二代目社長)



この品質を、 世界のすみずみまで 届けることができるか？

マニーが実現したい未来は、人々が健康に、幸福に暮らせる世界です。
超高齢化に伴う健康問題、環境問題や経済格差が引き起こす医療アクセスの障壁など、
世界を取り巻く課題が複雑化する現在。
世界中の誰もが「良い製品」による「良い治療」を受けることができるよう、
マニーはその使命を果たしていきます。



企業理念

患者のためになり、
 医師の役に立つ
 製品の開発・生産・提供を通して
 世界の人々の
 幸福に貢献する



理念

社訓

経営
基本方針

営業
基本方針

社訓

科学する心で熱心に粘り強く

経営基本方針

順法精神と独創技術を持ち
将来利益を確保する

営業基本方針

世界一の品質を世界のすみずみへ

本統合報告書の編集方針

● 基本的な考え方

2023年8月期（2022年9月1日～2023年8月31日）における当社とグループ各社（連結子会社 9社）の実績を主な報告対象としています。一部、当該期間以前、もしくは以後直近の内容も含まれています。

● 将来の見通しに関する注意事項

本統合報告書の記載内容のうち、歴史的事実でないものは、マニー株式会社の将来に関する見通しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは、記載の予測とは異なる可能性があります。

● 発行年月：2024年2月

Contents

Introduction

1. マニーが大切にしてきたこと	1
2. 企業理念	3
3. マニーが実現する未来	5
4. マニーが認識する社会課題と提供価値	7
5. マニーの価値創造ストーリー	9
6. MANI Outlook	11
7. 事業セグメントと主要製品	13
8. マニーのあゆみ	15

ビジネスストラテジー

トップメッセージ	17
マニーの価値創造の本質	23
中期経営計画	25
「これからの進化」を支える財務基盤	27
「これからの進化」に向けた取組み	
グローバル生産体制の構築	29
世界のKOLとの製品開発	31
地域密着型グローバルマーケティングの拡大	33
特集1 デンタル製品の競争力強化	35

「世界一の品質」を支える基盤 — マニーのESG

MANIサステナビリティの考え方	37
環境	38
特集2 環境負荷低減の取組み	40
From GERMANY ドイツMMG新本社・工場竣工	41
社会(人的資本)	42
特集3 人的資本座談会	47
コーポレート・ガバナンス	49
社外取締役インタビュー	63

データセクション

財務・非財務ハイライト	65
財務・非財務の変遷(11年分)	67
株式の状況	69
ステークホルダーとのコミュニケーション マニーのIR	69
会社情報	70

マニーが実現する未来

健やかな暮らしの提供で、 世界のあらゆる人々を幸福に

技術で社会に貢献する。

マニーは医療機器メーカーとして、あらゆる生命・環境の大切さを意識し、持続可能な社会との両立を図ることで、すべてのステークホルダーの幸福に貢献することを目指しています。

拠点地域・ 社会への貢献

- ・地域産学官との連携
- ・地域の避難所
- ・排気・排水のクリーン化



環境負荷低減型 事業活動

- ・環境、品質両立の製品
ライフサイクルマネジメント
- ・再生可能エネルギーの導入



事業活動を通じた 社会課題解決

- ・持続可能性を考慮した
世界一の品質
- ・世界のすみずみへ製品を販売



MANI
SUSTAINABILITY

労働安全衛生の確保と 健康増進

- ・健康経営の実施
- ・安全を相互啓発できる文化の醸成



ガバナンス

- ・安全衛生・環境・ガバナンスを
配慮した調達
- ・指名委員会等設置会社の継続
コンプライアンス順守



多様な人材が活躍する 職場環境

- ・国籍、人種、民族を超えた理解
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進
- ・柔軟な働き方の選択



□ P37 MANIサステナビリティ

マニーが認識する社会課題と提供価値

マニーが認識する今後の医療課題

高齢化の進展に伴う罹患率の増加

高齢化の影響により、様々な疾病の増加が予想されています。例えば、眼科手術件数は今後世界的に増加すると見込まれており、特に白内障手術件数の割合が最も高くなると見込まれます。

経済成長に伴う医療ニーズの変化

途上国や新興国の保健衛生を考える上では、口腔衛生の質の向上が最も重要な鍵を握ると言われます。これらの国々の経済成長に伴い、虫歯治療をはじめとしたオーラルケア・デンタルケアの重要性がより一層高まっていくものと見込まれます。

社会的損失の拡大とQOL

質の高い医療にアクセスすることができないために、多額の社会的損失を被っている人々が世界中で増加しています。このような問題が人々のQOL（クオリティ・オブ・ライフ）の低下を招き、ひいては社会経済活動への悪影響までも引き起こすと見込まれます。

マニーの強みと提供価値

01

独自の微細加工技術による世界一の品質

マニーが長年蓄積してきた固有の微細加工技術が、世界の医療現場で厚い信頼を得ています。

- 例) ● 非常に微細な手術用縫合針の開発
- 高い切れ味を追求した眼科ナイフの開発

02

医師にとっての使いやすさ、患者様の負担軽減を意識した製品開発

医師や患者様を第一に考えた製品開発がマニーの強みです。

医師の指先の繊細な感覚を捉える微細な医療機器の数々が、患者様の負担軽減につながる医療（低侵襲医療）の領域でさらなる発展を続けています。

- 例) ● 多様なオーダーに応える製品ラインナップ
- 手術用縫合針 10,000種類以上、デンタル製品 1,500種類以上
- 治療時間の短縮と患者様の負担軽減に貢献

03

世界の医療現場への確かな供給実績

1956年の創業以来、世界のさまざまな医療現場に

マニーは高品質な製品を供給し続けています。

お客様や販売パートナーからの品質に対する厚い信頼を礎として、世界のすみずみへ製品を届けることを使命としています。

- 例) ● 出荷国実績 120ヵ国以上

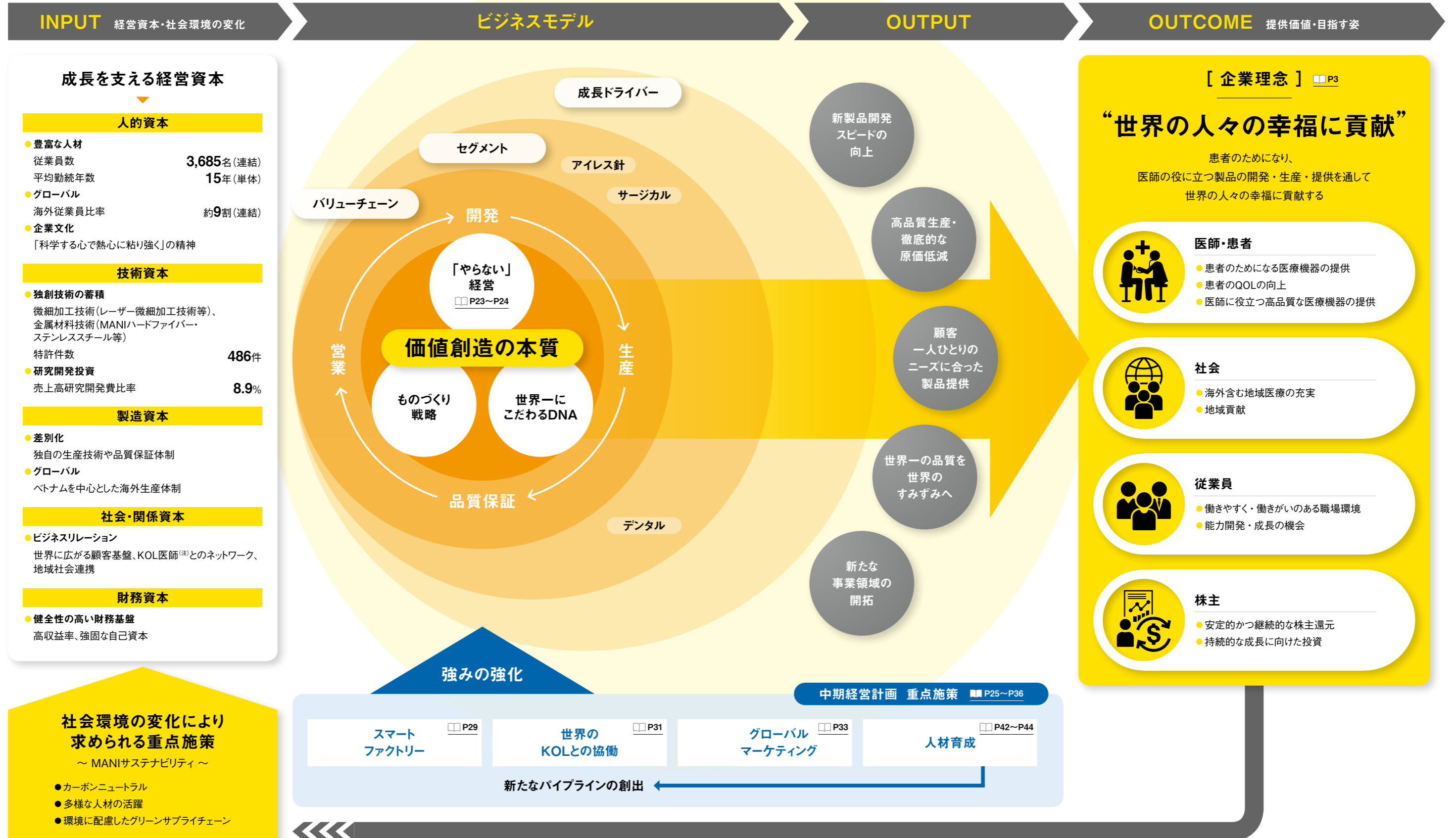
世界の人々の幸福に貢献する

患者のためになり、医師の役に立つ製品の開発・生産・提供を通して

5

マニーの価値創造ストーリー

マニーは長年培ってきた経営資本を活用し、「やらない経営」「ものづくり戦略」「世界一にこだわるDNA」の3点を強みに高品質の製品を提供してきました。今後はこれらの強みを一層強化し、付加価値の高い製品を世界のすみずみへ提供することで、医師・患者、社会、従業員、株主などのステークホルダー、そして世界の人々の幸福に貢献することを目指します。



歴史

1956年創業



グローバル展開
販売地域

120カ国以上

グローバル展開
海外売上比率*

83.0%

眼科ナイフ
世界シェア

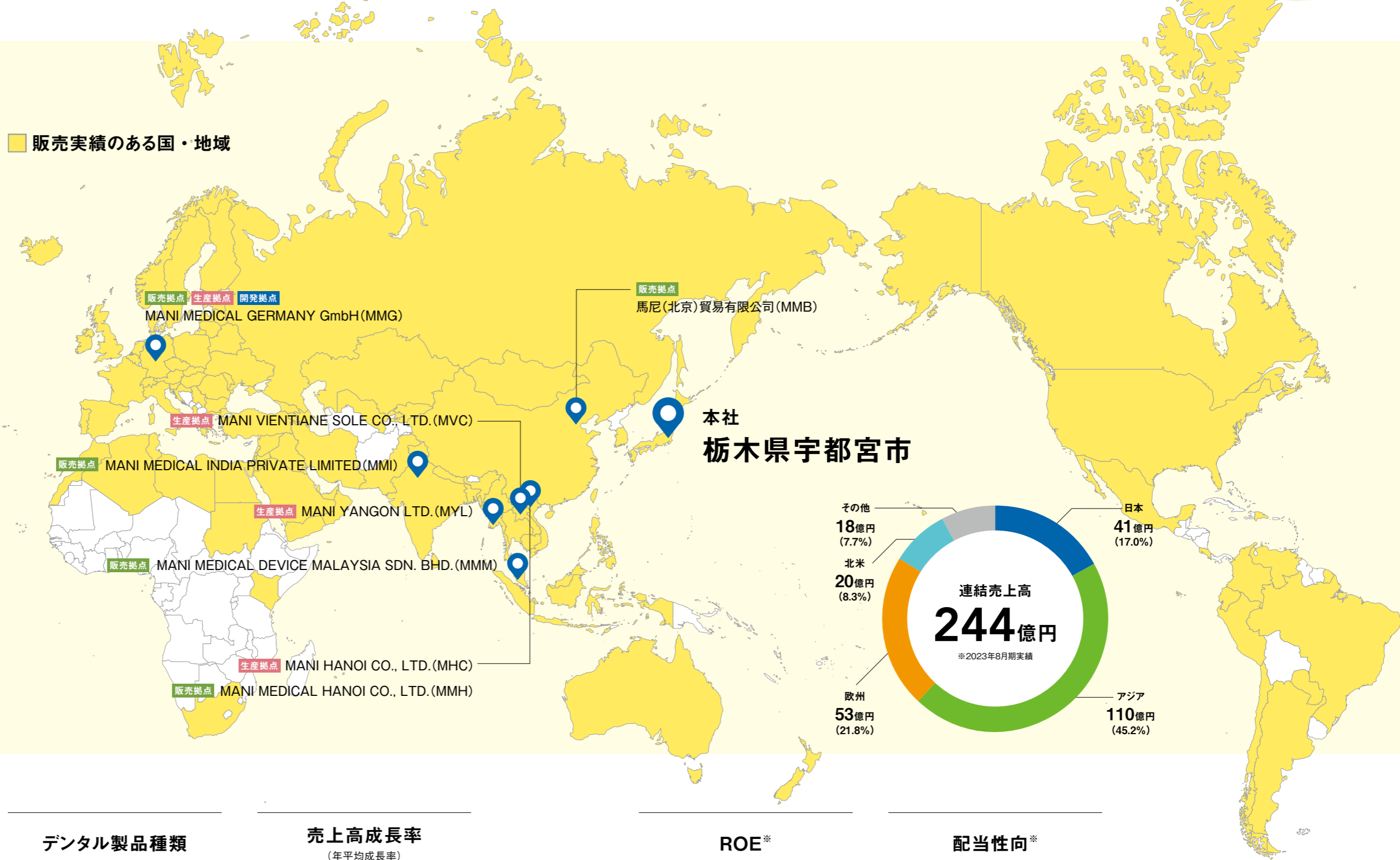
約30%

眼科ナイフ
国内シェア

No.1



■ 販売実績のある国・地域



Introduction

6

MANI Outlook

微細加工技術によって生み出された安全かつ高品質な医療機器を世界120カ国以上の医療現場に提供することで、世界の人々の幸福に貢献しています。特に白内障手術に使用される眼科ナイフについては日本国内のみならず、世界でも高い市場シェアを獲得しています。

アイレス針累計出荷数
(2007年～2023年までの約16年)

24億本 (当社推定)

デンタル製品種類

1,500種類以上

売上高成長率
(年平均成長率)

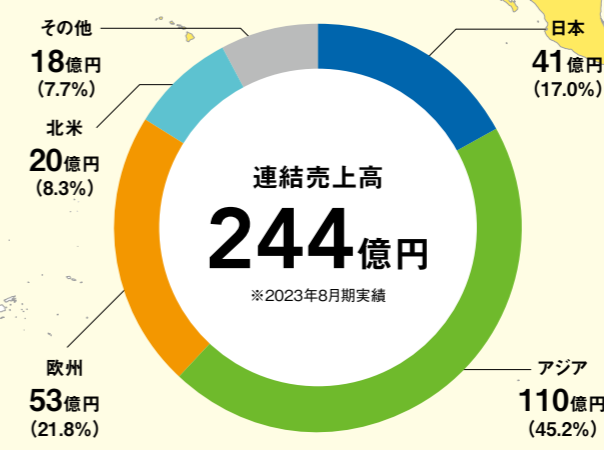
CAGR +10.1%
(2013年8月期～2023年8月期)

ROE*

12.5%

配当性向*

57.9%

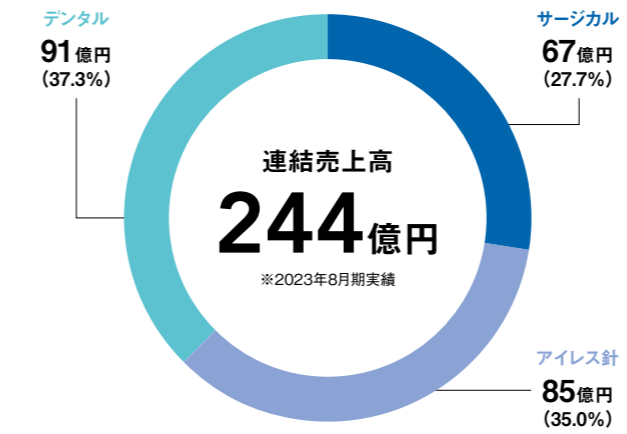


7

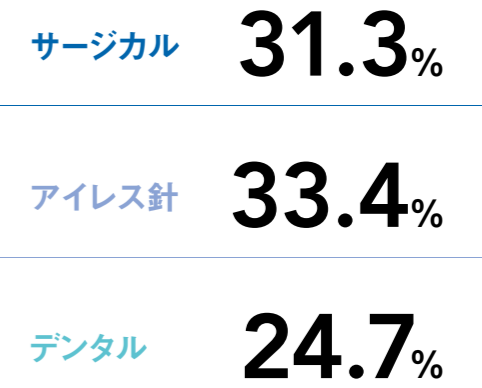
事業セグメントと主要製品

マニーは「サージカル」、「アイレス針」、「デンタル」の3つの事業セグメントを中心に、グローバルでビジネスを展開しています。
ニッチ市場に特化しながら、特徴ある製品群を構築しており、すべてのセグメントで高い収益性を維持している点も強みです。

セグメント別売上高



セグメント別営業利益率 (2023年8月期実績)



サージカル

- 眼科ナイフ、皮膚表面を縫合するステイプラーなど
- 競争優位：優れた切れ味、手術の微細化、精密化に 대응する微細加工技術



眼科ナイフ

ステイプラー

アイレス針

- 手術用縫合針、手術用針付縫合糸用針 (OEM生産)
- 競争優位：優れた切れ味、錆びにくく折れにくい自社開発の材料、微細なレーザー加工技術やドリル加工技術



アイド針

アイレス針

デンタル

- 歯科治療機器、歯科用修復材
- 競争優位：優れた耐久性、多様な製品ラインナップ、有害物質材料不使用による人体への配慮



歯科用根管治療機器 (リーマ・ファイル)

歯科用回転切削機器 (ダイヤモンド)

歯科用修復材

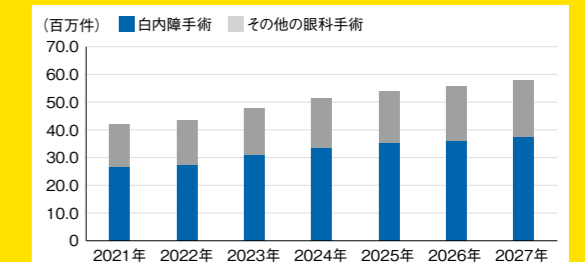
TOPICS

マニー製品を取り巻くヘルスケア領域の動向

高齢化と白内障

白内障は、目のレンズの役割を担う水晶体が濁ることで、次第に視力が低下していく病気です。主に加齢に伴い発症することが多く、日本や欧米をはじめとした先進国では社会の高齢化が進行している影響もあり、白内障患者数は世界的に増加の傾向を示しています。

世界の眼科手術件数の実績と見通し

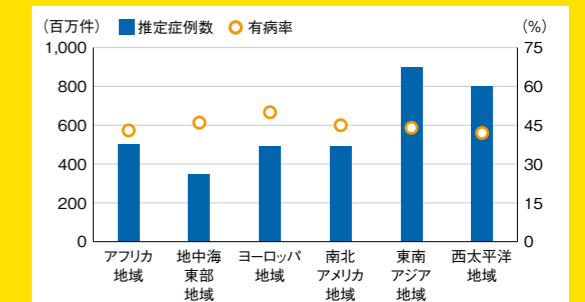


Market-Report社「2022-Ophthalmic-Surgical-Instruments-Market-Report」より当社作成

経済成長と口腔衛生

WHOのレポートによると、アジア地域（東南アジアほか）での口腔疾患の推定症例数や有病率が世界的に高いことが報告されています。経済成長を続ける新興国において、オーラルケアやデンタルケアの重要性は高まっていると推測されます。

地域ごとの主要な口腔疾患の推定症例数と有病率 (口唇がん・口腔がんを除く)



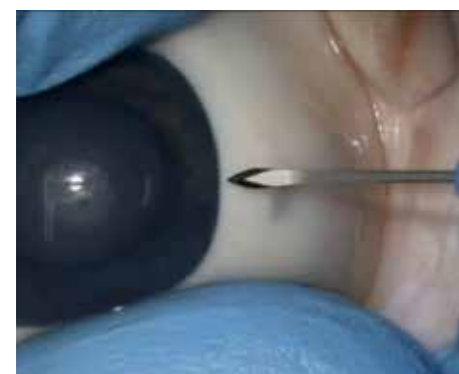
WHO「Global oral health status report Towards universal health coverage for oral health by 2030」より当社作成

医療現場での使用例

Case

白内障手術 × 眼科ナイフ

高い切れ味を追求した眼科ナイフが、世界中の白内障手術の現場で使用されており、手術時間短縮や患者様の負担軽減につながっています。



豚眼を用いた眼科ナイフの切れ味試験の様子

Case

心臓血管外科手術 × アイレス針

心臓血管外科手術など、医師の繊細な感覚が要求される場面において、折れにくさと精密さを備えたアイレス針が使用されます (直径140ミクロン以下のサイズを量産できるのは世界でもマニーのみ)。



人間の髪の毛程度の細さを実現した縫合針

Case

歯科治療 × 様々なデンタル製品

虫歯治療(歯の切削、歯の神経の治療)から、歯の機能性や審美性を高めるための修復治療など、歯科治療のさまざまなニーズに対し、多種多様なデンタル製品が使用されています。



歯を切削する際に使用されるダイヤモンド

P35 特集1

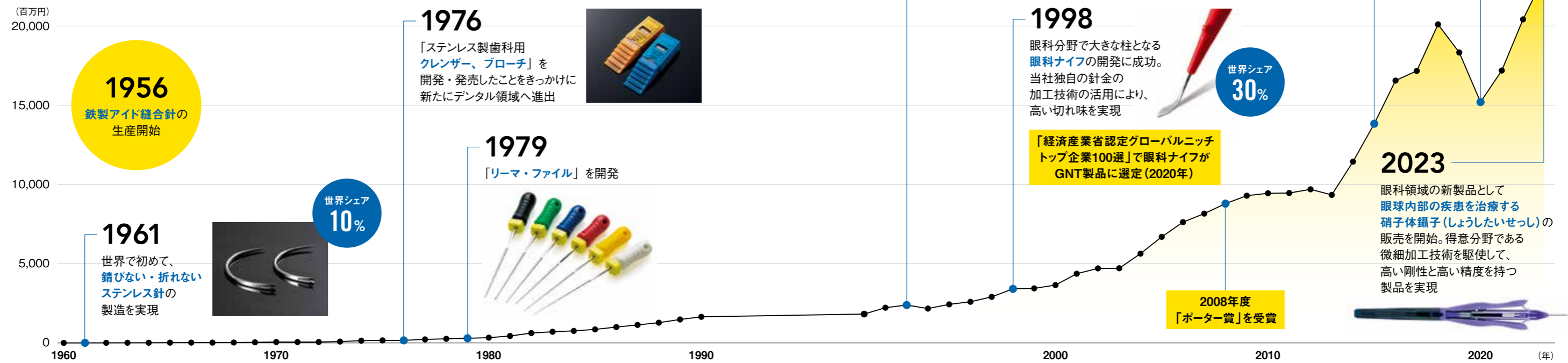
Introduction

8

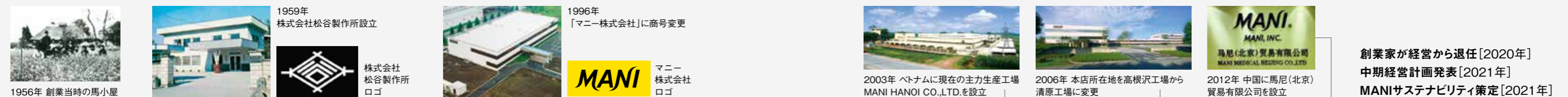
マニーのあゆみ

マニーは創業以来、患者と医師の役に立つ製品を創り出すことを追求し、微細加工技術が必須とされる医科・歯科治療機器の領域において、ビジネスモデルを進化させグローバル展開を進めることで成長してきました。これからも社会の求めるニーズや事業環境の変化を細やかに捉えた事業展開により、持続的な成長を目指します。

マニーの歴史と連結売上高の推移



事業拡大とガバナンスの進化



創業者・松谷正雄提唱
「品質第一主義」を掲げる

企業理念体系の
整備[1986年]

日本証券業協会に店頭登録
[2001年6月]

東京証券取引所市場第二部上場[2011年9月]
東京証券取引所市場第一部に指定替え[2012年9月]
東京証券取引所プライム市場に移行[2022年4月]

受賞歴・外部評価

<p>2008年度 「ポーター賞」を受賞</p> <p>https://www.porterprize.org/pastwinner/2008/12/02111040.html</p>	<p>「経済産業省認定 グローバルニッチ トップ企業100選」に選定</p> <p>https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/gnt100/index.html</p>	<p>Corporate Governance of The Year</p> <p>一般社団法人 日本取締役協会 「コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー2023」 特別賞・経済産業大臣賞</p> <p>https://www.jacd.jp/news/cgoy/240111_2024-1.html</p>	<p>とちぎSDGs推進企業</p> <p>https://www.pref.tochigi.lg.jp/f01/work/shoukouyou/sesaku/tochigisdgs2023.html</p>	<p>えるぼし認定(認定段階3)</p> <p>https://jsite.mhlw.go.jp/tochigi-roudoukyoku/newpage_00881.html</p>
---	---	---	---	---